



広報 - 第5号 -

みやぎ

平成17年7月発行

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院

発行責任者 齋藤 博

〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316

ホームページ <http://www.mnh.go.jp>

基本理念

私たちは、国立病院の使命を認識し、当院を利用されるすべての方々に信頼され、かつ満足していただける医療サービスと生活支援をめざしております。



広瀬川（仙台市）
広瀬川は、仙台の生んだ詩人土井晩翠の詩をはじめ、記憶に新しいところでは「青葉城恋唄」まで、多くの歌や文学作品にその名を残している。市街地において、淵や瀬、中州、自然崖等の自然景観が楽しめる。

（写真提供：
宮城県観光課）

臨床研究部について 臨床研究部長 久永 欣哉

当院の臨床研究部は1983年に設立されました。国立病院機構の病院はいくつかの政策医療ネットワークに組み込まれていて、当院に割り当てられている分野は神経・筋疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、重症心身障害、および長寿医療ですが、これらの分野での臨床研究の推進を求められています。

最近の当院における研究成果としては、脳卒中における高次脳機能障害の解析、パーキンソン病に対する機能的脳外科治療の効果の検討、神経難病の自律神経障害の解析、脳磁図を用いた口腔内器官の大脳皮質一次体性感覚野の同定、小児気管支喘息の研究、神経Sweet病の提唱・診断基準作成などについて、国内、または国際的な主要専門誌に論文発表されています。

以上の医師主導的な研究のほかに、他の各職種・各部門主導の研究も盛んで、神経疾患の言語療法の開発、脳画像研究、重症心身障害児（者）ケアの研究、様々な疾患に対する服薬指導・栄養指導に関する研究、看護技術研究、医療安全に関する研究などがおこなわれています。また、臨床研究部では薬剤科、看護部、臨床検査科、放射線科、事務部門の協力のもと、抗パーキンソン病薬や脳卒中予防薬などの臨床治験研究を推進しています。

医師の確保が困難になってきている現状で臨床業務の合間に研究活動が続けていくのは大変な面もありますが、これまで築かれてきた宮城病院のレベルを落とさないよう、さらに高めていけるように努めていきたいと思っております。

「臨床医に役立つ ACLS(Advanced Cardiovascular Life Support) の知識」

副院長 佐藤 智彦

ACLSはここ数年来、救急医学会を中心として盛んに日本の各都道府県で行われてきている。これは神戸での阪神淡路大震災を境にして、集団災害における政策面でも充実が図られ、さらにそれを後押ししたのが、日本でのワールドサッカー開催であった。私は前勤務先が大分県で唯一の救命救急センターを有し、大分県や大分市の救急に於けるメディカルコントロールに関わっていたところから、これまで医師会の先生方、救命士、コメディカルのPTECプロバイダーやACLSインストラクターに携わってきた。

今回は、その立場から臨床医に役立つACLSの知識を、先ず、欧米でベットのサイドや第一線の診療の場で実際に繁用され、救急医療の場における聖書と言われている実用書ワシントン・マニュアルの最新版をここに紹介し、それに基づいて現在、医療従事者やバイスタンダーに普及させているBLS(Basic Life Support;一次救急処置)とACLS(二次救急処置)に解説を加えた。

CPR(Cardio-Pulmonary Resuscitation;心肺蘇生法)は医療従事者を始め、あらゆる人々が知ってお



かなければならない知識と技術であり、それも短時間の内に、迅速に、正しく行う事が重要で、正確には一次救急処置(蘇生のABCを「手」「口」で行う)と二次救急処置(ABCDEFGHIを医療器具や薬品で行う)の両者を合わせたものであり、一次救急処置のみをさすものではない。(A:air way気道確保, B:breathing呼気吹き込み人工呼吸, C:circulation胸骨圧迫式心臓マッサージ, D:drugs静脈内・気管内・骨髄内薬物投与, AHA(American Heart Associationの心肺蘇生法のガイドラインではdefibrillationの除細動となっている), E:ECG心電図によるVF/VT/PEA/Asystoleの診断, F:fibrillation除細動, G:gauge循環動態・血液ガス・電解質等の諸計測モニタリング, H:human mentation脳蘇生 脳保護療法, I:intensive care抗ショック療法・呼吸循環管理)

従って以下の手順(1)心肺停止の確認(2)救急隊に通報(3)基本的な一次救急処置(4)除細動(5)気管内挿管(6)静脈確保と必要薬物の投与、を速やかに施行することが非常に重要である。

CPRは心肺蘇生法といえども最終目標は「脳」の蘇生である。いくら心肺蘇生しても低酸素脳症になって植物状態になっては何にもならない。脳外科医でもある立場から心肺蘇生法に関連して脳代謝の特異性、意識障害の原因、生命徴候からみた意識障害の原因、既往歴からみた意識障害の鑑別、意識障害と検査所見による疾患の鑑別についてもさらに解説を加えた。

職場紹介

～ 第1病棟 ～

1病棟は、神経内科と、脳外科の混合病棟です。患者さんのほとんどはリハビリ対象で、約1/3が寝たきり、残り2/3が車椅子の患者さんです。スタッフは脳外科の医師2名、神経内科の医師2名、看護師は師長を含め20名の病棟です。

建物が古く暗い病棟だったため2月に病室の引越しをいたしまして、病室の塗装、トイレは、ウォッシュレット付の便座に交換、また浴室もエレベーターバスを入れていただきました。トイレは毎日のことですので患者さんはとても喜んでいきます。入浴についても、寝たきりの患者さんでも湯船に入ることができるようになり、話のできる患者さんからは、好評です。

病棟が明るくなったところで、スタッフも明るく元気に患者さんに満足していただける看護を提供していきたいと頑張っていますので、今後ともよろしく願います。(1病棟看護師長 須賀秀子)

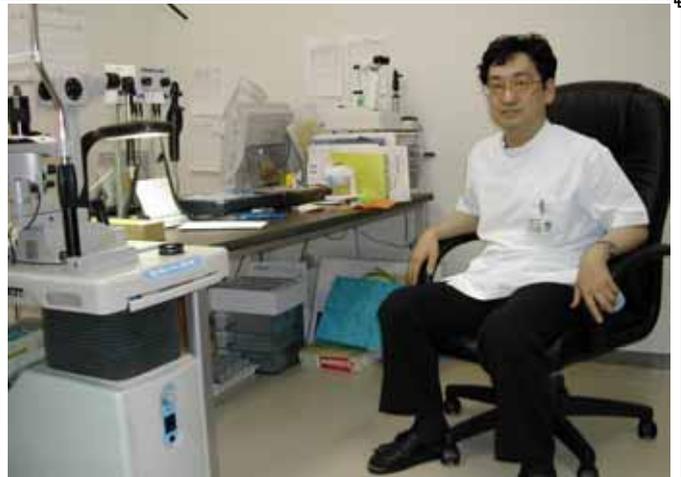


昭和59年国立仙台病院で初期研修させていただいてから、国立西多賀病院、宮城病院と多くの国立病院と関わらせていただいております。

亘理で開業してから8年、宮城病院の先生方には丁寧にご指導いただき、大変勉強させていただいております。眼科は、内科特に神経内科、脳外科とオーバーラップする部分が多く、先生方の意見がすぐにうかがえる点非常に患者さんに素早い対応ができると考えております。地域の開業医と大病院の両立は、確かに難しい問題をたくさん抱えていると思いますが、患者さん中心と考えればすべて答えができるように思います。

宮城病院の登録医となってからは、いろいろの相談を先生方からうけ、多少なりとも“力になれたかな”と嬉しく思います。

これからも地域医療をになう一眼科医として、先生方のご指導をあおぎながらがんばっていくつもりです。



浅野みつや眼科医院 浅野 三哉

浅野みつや眼科医院のご紹介



診療科 / 眼科

住 所 / 〒989 - 2331 宮城県亘理郡亘理町吉田字南堰上11 - 3

電話 / 0223 - 32 - 1162

[セミオープンとは?]

地域の開業医の先生方が、当院の医療設備の一部を利用していただき、当院医師との連携のもとに協同して診察と研修に当たることができるシステムです。

利用可能な医療機器は、MRI・CTスキャン・SPECT・DSA・デジタルX線装置・高機能超音波検査機器・テレビ内視鏡装置があります。

生活習慣病を予防しよう

薬剤科から ~高脂血症編~

高脂血症とは、血液中の脂質の中で、とくに「総コレステロール(TCと略)」と「トリグリセリド(TGと略)」が増加した状態をいいます。

高脂血症の診療において最も重要なことは、高脂血症の病態を正しく診断し、病態に応じて適切な治療を行うことです。高脂血症は、二次性高脂血症(糖尿病、甲状腺機能低下症、ネフローゼ症候群などの疾患や、副腎皮質ホルモン、エストロゲン製剤などの薬剤服用に伴った高脂血症)と原発性高脂血症に分類されます。

治療の原則は、二次性高脂血症においては、原因疾患の治療、原因薬剤の減量または中止を行います。原発性高脂血症治療の基本は食事療法と運動療法です。高TC血症に対する食事療法としては、コレステロール摂取制限(300mg/日以下)、飽和脂肪酸摂取の制限、および食物繊維摂取の増加を指導します。高TG血症ではカロリーおよびアルコール制限を行います。運動療法ではTC低下作用は必ずしも期待できない面もありますが、TG低下およびHDL-C増加作用は認められます。まず食事療法と運動療法を最低3カ月間行って、それでも目標とするレベルへ血清脂質が低下しない場合には薬物療法を加えます。

また、薬物療法を受ける患者においても、食事療法と運動療法が高脂血症治療の基本となることを患者について十分に説明し、コンプライアンスを高めるように努める必要があります。

診療科別		月	火	水	木	金
内科		舟生 岳晴	渡邊 哲子	金田 京子	舟生 岳晴	金田 京子
神経内科	新 患	佐藤 智彦		久永 欣哉		(交替制) 藤井 玲子 水野 秀紀(第2) 高橋 利幸(第4)
	再 来		齋藤 博	藤井 玲子	久永 欣哉	佐藤 智彦
	再 来	岩崎 祐三	菅野 重範	澁谷 聡	石垣 あや	
	再 来					
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科		阿部 毅	検査	検査	阿部 毅	検査
循環器科		(交替制 毎週金曜日のみ) 井上 寛一、堀口 聡、富岡 智子、塩入 祐樹、深堀 耕平、小山 二郎				
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午 前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午 後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児検診	療育相談 (大島 武子)	
外科		岩附 昭広	岩附 昭広	手術日	岩附 昭広	岩附 昭広
脳神経外科		志田 直樹	安藤 肇史	志田 直樹	手術日	安藤 肇史
皮膚科					第4(木)のみ	
リハビリテーション科				(第2・4午後)新藤 恵一郎 (入院患者対象)		
歯 科		小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子

ご注意ください

受付時間は午前8:30～11:00です。

土曜日・日曜日・祝祭日及び年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

当院で新たに診察される患者さまは、前に受診・通院されておられました病院などの「紹介状」を、なるべくお持ちくださいますようお願いいたします。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくことになりますので予めご了承願います。

交通のご案内



自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイントの位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

鉄道でおいでの方

仙台方面から

JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から

JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

